神楽を舞う喜び

禰宜　髙名　都雄

御嶽の山に春を告げる、武蔵御嶽神社の春季大祭が三月八日しめやかに執り行われました。古くは日の出祭として、日の出と共に執り行われ、春山信仰の山開きとも云われておりました。祭が済むと恒例であります神楽の講習会が三日間行われます。

この神楽は、武蔵御嶽神社に伝承される太々神楽として、今から二百年以上前江戸から傳わり、神話を題材にした里神楽と儀式的な神楽とがあり、東京都の無形民俗文化財に指定されております。そして樂(伴奏)や舞いなど全てが代々神職によって受け継がれております。この神楽は神様に御覧いただく神事であるため神前に向かって舞われます。神様に御覧いただき、併せて参拝者も神楽を観て神人共に楽しむことに意義があります。

講習は先輩の神職を師匠としてご指導を受け継承しております。私も若き頃、初めて講習を受けた時は師匠が伯父でしたが、早く舞台に上がれるようにと厳しい指導を受けた思いがあります。本番で間違え、面の下で赤面したり、間違えず舞えたかと思えば樂に乗れなかった事などしばしばでした。

太々神楽奏上も全盛期には年間で百回を超え、日によっては四回奏上された事もあり、一日中神楽装束でいることもありましたが、神楽も終わり直会での御神酒は格別な思いが致しました。

今日では楽屋で一役、出番あれば舞う気力十分、神楽を舞う喜び、楽しみを忘れたことはございません。

尚、当神社では下記による一般公開を行っておりますので、ご来山をお待ち致しております。

記

夜神楽
六月より十一月までの
毎月第四日曜日
於・神楽殿（夜間）

神楽と雅楽の一般公開
六月二十一日(日)・九月二十一日(月)
於・神楽殿（午前十一時）

薪神楽
十月十日(土)・十一日(日)
於・大鳥居前広場特設舞台（夜間）
演目はその都度替わりますので詳しくはお問い合わせ下さい

御岳山の行事

三月	八日	春季大祭
	二十日	奉納俳句奉告祭
四月	下旬	産安社祭
	二十九日	奉納剣道大会
五月	七日	日の出祭（宵宮）
	八日	日の出祭（神輿渡御）
	十五日	男具那社祭
		大口真神社祭
六月	十三日	修行体験講座（一泊）
	十四日	神楽と雅楽の一般公開
	二十一日	夏越大祓
	三十日	峰中修行（日帰り）
七月	十一日	修行体験講座（一泊）
九月	十二日	カンタンを聴く会
	十三日	神楽と雅楽の一般公開
	初旬	大口真神社祭
	二十一日	流鏑馬祭
	二十九日	薪神楽
十月	十日	薪神楽
	十一日	秋季大祭
十一月	八日	末社祭
	二十三日	山岳マラソン
十二月	十三日	天長祭
	二十三日	大祓
	三十一日	元旦祭
一月	一日	太占祭
	三日	大口真神社祭
二月	三日	節分祭
	初午	稲荷社祭
毎月	十一日	紀元祭
毎日	八日	月次祭
		日供祭

石段修復事業資金御寄進のお願い

当神社の創建は、遠く崇神天皇の御代と伝えられ、境内全域が文化財に指定されるなど永い歴史が刻まれておりますが、山頂の厳しい自然環境の中で、その維持に心を砕いているところであります。

参道の石段も近年老朽化が著しく、参拝者の安全確保の為に全面的な修復を余儀なくされております。

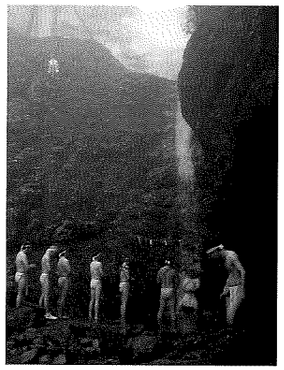
就きましては、この情状を御理解賜り、石段の修復工事に御浄財の奉納をお願い申し上げます。

尚、ご寄進頂いた方々の奉加帳はそのご芳志を末永く留めるため、御神前に供えさせていただき、さらに、一万円以上のご寄進の方のご芳名は境内に掲示し、五万円以上のご寄進の方のご芳名は竣工時に石段の石柱に住所・姓名を刻し、永く保存致したく存じます。

柱の一面を用いてのご篆刻(てんこく)の場合は三十万円以上とさせていただきたく存じます。

修行体験講座（滝行他）

毎回多くの方にご参加を頂き有難うございます。あなたが「生きる」「生かされている」事の何かのきっかけになればと思います。霊山の中での鎮魂一度ご参加なさってみてください。



一泊二日体験講座
六月十三日(土)～十四日(日)、
九月十二日(土)～十三日(日)

日帰り体験講座
七月十一日（土）

資格　十八歳～六十五才くらいまでの健康な方

開催人員　三十名まで

費用　一泊二日　一万五千円
（申込金・五千円振込）
日帰り　七千円
（申込金・全額七千円振込）

締切　開催一週間前　申込金の事前振込が必要です。

沢山の方の御参加をお待ちしております。

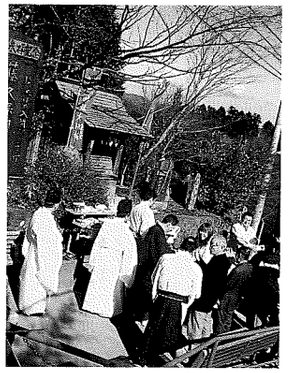
奉納

営繕資金
平成二十年九月一日～
平成二十一年一月三十一日

瀧　柱郎（東京・青梅市）
細田　昌義（神奈川・川崎市）
小町　幸生（東京・東村山市）
瀧　伸明（東京・羽村市）
保土ヶ谷講　石井　忠（神奈川・川崎市）
健やか気功会　宇野　ゆかり（埼玉・入間市）
金井　益雄（栃木・野木町）
ささらプロダクション　本木御嶽講　石井　長衛（神奈川・川崎市）
（東京・足立区）
高橋　達児（東京・練馬区）
薬膳料理と気功太極拳を楽しむ会　三枝　茂（東京・福生市）
古谷　喜子（神奈川・相模原市）
サンベアー　進藤　喜一（東京・渋谷区）
（東京・武蔵村山市）
宮井　章（埼玉・新座市）
宮井　利香子（東京・東久留米市）
宮井　芙美子（東京・練馬区）
嶋田　浩典（東京・八王子市）
嶋田　亜也子（埼玉・戸田市）
杉本　正（埼玉・所沢市）
新井竹芸（埼玉・日高市）
川野自治会一同（埼玉・吉川市）
匿名
峯岸　一雄（東京・多摩市）
石谷　壽子（東京・多摩市）
大泉辛酉講　加藤　友久（東京・練馬区）
平原　イツ（東京・青梅市）
ウチダハウス（東京・練馬区）
樋口　タマ（東京・奥多摩町）
佐久間建設株式会社（東京・奥多摩町）
近藤　富夫（東京・昭島市）
小泉　直広（埼玉・入間市）
井上　正之（東京・あきる野市）
丸井紙店　有泉　誠一（山梨・市川三郷町）
熊澤　一也（東京・狛江市）
小澤　弘子

お御嶽(みたけ)さ～ん　お宮めぐり（二）

稲荷社

ご祭神　倉稲魂神(うかのみたまのかみ)

お稲荷さまと親しまれ、午の日には五穀豊穣・商売繁昌を願い、油揚げやイワシを供える住民の姿が見受けられます。特に二月の初午の日には多くの人がお参りされます。昔子供達はこのお供え物を祭典後にお社の前で焼いて食べるのが楽しみだったそうですよ。